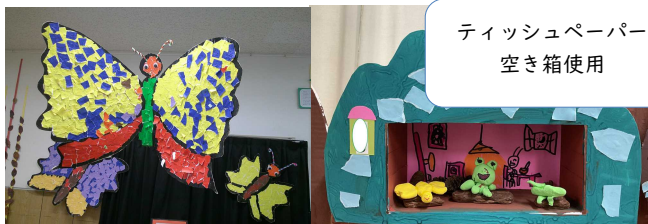


連携教育通信

～就学前教育・保育施設特集～ 就学前教育・保育施設では、運動会・園外保育が終わり、秋深まる11・12月に「作品展」や「お店屋さんごっこ」などが行われています。年度当初から作品を作って保存してきたものを使って行う園、子どもたちとこの行事にどのように取り組むかを相談し、子どものアイデアを最大に生かせるように企画する園とさまざまです。特に「お店屋さんごっこ」は製作・当日のお客さん・お店さんのやりとりの関わりも大切です。幼稚園・保育園の取組をご紹介します。

＜作品展・江原保育園＞

乳児組の作品は玄関に展示し、送迎時に観覧できるようにしました。幼児組は、それぞれが作っている時の様子や製作のプロセスなども子どもの言葉で伝え、親子で会話を楽しみながらの観覧をしたそうです。青虫を飼育して、蝶々になった喜びを作品にしたクラスもありました。



ティッシュペーパー
空き箱使用

＜アート展・アルテ子どもと木幼保園＞

テーマを「移ろう・変わる・めぐる」とし、ものや友だちとの対話により生まれた発想や工夫を形にする実践をしてきました。作品とプロセスを記録したドキュメンテーションの展示・画像の投影が行われていました。粘土作りが発展し5歳児が茶碗を作り、素焼き前の展示もありました。今後焼くとのことで、今後の展開も広がりがあり、楽しみです。



＜こどものまち・野方保育園＞

3歳組は遊べるコーナー、4歳組はお化け屋敷、5歳組はお店屋を行いました。お店屋ではピザ・ドーナツ・ウサギの飾りなどを売り、年齢の縦割りグループで店舗を回りました。



3歳組：どんぐり迷路



「スタンプを押してもらった？」
「1つしか買えないけどどっちにする？」と5歳児が3歳児に声をかける様子も見られました。目線を合わせるためにかがんで声をかけるなど、3歳児に優しく伝えようとする姿がこちらで見られました。

＜わくわくらんど・丸山保育園＞

4歳組はお店屋（焼そば・おにぎり・わたあめ・お花）と電車（乗れます）、5歳組はお化け屋敷、そしてカフェは本物のジュースとせんべいがありました。自動販売機の後ろに職員が入り、お金を入れてボタンを押すとジュースが出てきます。せんべいはプラレールに乗って動いています。それを取る子どもたちの目はキラキラ輝いていました。保育者のアイデアで、楽しいカフェになりました。



<かみさぎランド・かみさぎ幼稚園>

5歳児が計画・準備・運営しました。店舗は、おもちゃ（コマ・車・アクセサリー）を売る店屋、カービィボウリング、お化け屋敷、回転寿司です。それぞれ店舗ごとのコスチュームをつけて対応していました。この日のお客さんは3・4歳児です。おもちゃ屋はコマや車で遊べる場所もあり、遊んだ後はレジでお金を支払うと、ラッピングもしてくれます。お化け屋敷は車に乗って回ります。出口付近に鍵があり、その鍵で扉を開けると元の世界に戻って来れました。コウモリが飛んでくるところでは大人も声をあげていました。この「コウモリ飛ばし」は悩んでいる子どもたちに、担任保育者がヒントを出して製作したそうです。そして回転寿司、本当にレーンが回っていました。客席側の客対応の子、後ろ側のレーンを手動で動かす子とそれぞれ役割分担していました。本物のネタに見える素材にも工夫があり、1つ1つ考え相談して取り組んだことが伝わってきました。子どもたちの案を引き出し、実現に向けての保育者の対応・工夫が感じられ、子どもも大人もみんなで作り上げていったことが伝わってきました。



おもちゃ



お化け屋敷



ボウリング



回転寿司



<わくわくランド・ひがしなかの幼稚園>

5歳児が計画・準備・運営しました。「わくわくランド」をホールですべて行い、動物触れ合い・レストラン・お化け屋敷・鉄道（電車）の4種類のコーナーがありました。この日のお客さんは3・4歳児です。動物触れ合いでは、製作したキリン1頭とモルモット数匹がいました。モルモットはお気に入りを選んで抱っこし、餌をあげることもできました。動物と触れ合った後は飾りのお土産ももらえました。レストランはビュッフェタイプ。トレーを持って好きなものを選んでいました。メニューはケーキ・ドーナツ・サラダ・ジュースなど子どもたちの好きなものばかり。食べ終わった後は食器片づけ場もあって、いつも目にするカフェを思い浮かべて計画したことが伝わってきました。お化け屋敷は、出口でオバケに玉をぶついたり、輪投げをしたりするスペースがあり、やった!!とみんな満足気でした。そして鉄道（電車）は箱車に乗り、坂道を下る仕掛けになっており、重さにより加速がつきスピードが出ます。3歳児は駅に着くとホッとした笑顔になりました。前日は保護者も乗ったとのこと、きっと加速したんだろうと思います。運営している5歳児は自分の持ち場に自信をもって対応・説明してくれました。「わからないことは子どもたちに聞いてみて」と園長先生もおっしゃっていました。当日までの取組でじっくり話合ってきたことが伝わってきました。



鉄道



レストラン



動物触れ合い

どちらの幼稚園も会が終わった後、担任と子どもたちがみんなの顔が見えるように円になって座り、お客の反応はどうだったか、何と言っていたか、言われてどんな気持ちだったのかを報告しあっていました。自分たちの案を実現し、「楽しかった、ありがとう」と言われた気持ちをみんなで共有・共感しあい、経験が自信と次の意欲につながっていることを子どもたちの様子から感じました。